

平成 21 年度 精度管理調査報告

日本医師会/広島県医師会/日臨技サーベイ

当検査センターでは、均質で精度の高い検査が維持できるよう毎年積極的に各種精度管理調査に参加しています。昨年度も日本医師会、広島県医師会および日本臨床衛生検査技師会が実施する精度管理調査に参加しましたので、以下にその結果をご報告いたします。

第 43 回 日本医師会 臨床検査精度管理調査	第 37 回 広島県 臨床検査精度管理調査	平成 21 年度 日臨技 臨床検査精度管理調査
99.6	99.0	99.3
3,159 施設参加	168 施設参加	3,558 施設参加

▼過去の調査結果

年度	日本医師会	広島県医師会
平成 20	98.9	100.0
19	99.5	100.0
18	99.8	99.8
17	98.3	99.8
16	98.1	98.6

ご覧いただいているとおり、当検査センターは継続して好成績を収めています。この成績に恥じる事のないよう、精度保証体制や会員サービスのさらなる充実により、先生方に安心をお届けできる検査センターを目指して、これからも努力し続けます。

■当検査センターにおける精度管理体制の一例 ～検査科生化学部門～

当検査センターでは、ランプ光量チェックや電極チェックなどの使用前点検はもちろんのこと、検査終了時にも約 1 時間かけて機器の洗浄を行なうなど、メンテナンスにも力を入れています。機器メーカーである日立ハイテックフィールドディング社と長期の保守契約を結び、定期的に保守点検作業を行なっています。また、緊急時には日立ハイテック社と電話回線を利用して機器と交信できる体制を整えています（リモートコントロールシステム）。

精度管理については、シスメックス社の QAP コントロール等に参加し、全国レベルで行なっています。外部精度管理調査につきましても、積極的に継続的に参加し、常に良い成績を収めています。さらに所内におきましても、日々のデータから、項目別、男女別に正常値内平均値や上限異常値率、下限異常値率の管理を行なっています。